



様式第3号（第8条関係）

事業者達成状況報告書

年 月 日

鳥取県知事 平井 伸治 様

届出者 住所 鳥取市尚徳町117番地

氏名 鳥取赤十字病院
院長 竹内 裕美
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

鳥取県地球温暖化対策条例第8条第5項（第9条第3項）の規定により次のとおり提出します。

住所（主たる事業所の所在地）	鳥取県鳥取市尚徳町117					
氏名（名称及び代表者の氏名）	鳥取赤十字病院 院長 竹内 裕美					
主たる業種	83 医療業					
該当する事業者要件	☐ 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第1号に該当する特定事業者 ☐ 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第2号に該当する特定事業者 ☐ 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第3号に該当する特定事業者 ☐ 特定事業者以外の事業者					
計画期間	令和4年 4月 ~ 令和7年 3月					
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度（実績） （令和3）年度 （二酸化炭素換算）	目標年度（計画） （令和6）年度 （二酸化炭素換算）	増減率	報告年度（実績） （令和6）年度 （二酸化炭素換算）	増減率
	排出量（1）	4,517.9 t	4,246.8 t	△ 6.0 %	3,053.7 t	△ 32.4 %
	実績に対する自己評価	当初の想定より多くの排出量を削減することができた。これは、LED化、熱源等設備改修、省エネ機器の採用を行った事が要因として上げられる。令和6年度においてここまで数値が低下した原因としては電力会社の排出係数が少なかった事が大きい要因であるので決して油断せずこれからも温室効果ガス排出量削減に向け様々な事を検討する。				
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率	報告年度（実績）
	二酸化炭素換算 延床面積	0.107 t-CO2/m2	0.100 t-CO2/m2	△ 6.0 %	0.072 t-CO2/m2	△ 32.4 %
	二酸化炭素換算			%		%
	二酸化炭素換算			%		%
	実績に対する自己評価	省エネルギー推進委員会を中心として、院内のLEDの促進と気候やその時々状態を配慮した上で空調の効率化を図る。また、引き続き省エネ機器の導入を行い、職員にも引き続き節電の呼びかけをし、一人、一人の省エネ意識向上を目指す。				
省エネ取組	取組区分	目標年度（計画）		報告年度（実績）		
		実数値	二酸化炭素換算の削減量	実数値	二酸化炭素換算の削減量	
	再生可能エネルギーの利用による電力又は熱の供給 (発電量)	kWh	t	(発電量)	kWh	t
	再生可能エネルギーの利用による二酸化炭素の排出削減の量を表すものの購入 (購入量)	GJ	t	(熱供給量)	GJ	t
	森林保全による二酸化炭素の排出削減の量を表すものの購入 (購入量)	-	t	-	-	t
	電気、ガスその他のエネルギーの使用の合理化による二酸化炭素の排出削減の量を表すものの購入 (購入量)	-	t	(購入量)	GJ	t
	削減量等合計（2）	0 t		t		
逸出排出量（1） - （2）		基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）	報告年度（実績）	増減率（実績）
		4,517.9 t	4,246.8 t	△ 6.0 %	3,053.7 t	△ 32.4 %
推進体制	省エネルギー推進委員会を中心として、院内のLEDの促進と気候やその時々状態を配慮した上で空調の効率化を図る。また、引き続き省エネ機器の導入を行い、職員にも引き続き節電の呼びかけをし、一人、一人の省エネ意識向上を目指す。					
年度ごとの具体的な取組及び措置の計画	年度	設備、対象、工程等	内容			
	令和7～9年度	立体駐車場、外来棟、本館階段照明	全面LED更新 完了を目指す。（172台）			
	令和7～9年度	全館	遊覧誘導灯のLED化を進めていく。			
	令和7～9年度	外来棟	エアコン省エネシステムの対象機器増大検討			
地球温暖化対策に資する社会貢献活動						
特記事項						

注1 該当する口には、レ印を記入してください。

注2 本計画書における温室効果ガス排出量は地球温暖化対策の推進に関する法律第21条の2第3項に規定する「温室効果ガス算定排出量」の算定方法と同様の方法により算定した量をいいます。

注3 本計画書は鳥取県内における事業活動について記載してください。

注4 主たる業種には、統計法（平成19年法律第53号）第2条第9項に規定する統計基準として定める日本標準産業分類のうち中分類を記入してください。

注5 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度をいいます。

注6 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、〇〇工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標（延床面積、延べ床面積、走行距離等）を記入してください。

9/29

④